

本号は、「脊髄障害とニューロモデュレーション NOW」という特集である。脳神経内科医である私からは専門外となるが、電気刺激やボツリヌス療法、バクロフェンの局所適用など、外科系医師（泌尿器科も含む）ならではのダイナミックな方法で、患者さんのQOLを少しでも高めようという努力をされていることに感心しながら読ませていただいた。とりわけ益田宗彰先生の「脊髄損傷による呼吸不全に対する横隔膜ペーシングシステム」の論文については、適応を確認する段階で、横隔神経伝導検査という、私自身はやらないが、電気診断を行う脳神経内科の仲間が開発した方法が応用されていることを嬉しく思った（引用されているCMAPの図の原著者小森哲夫先生は、日本臨床神経生理学会での神経筋電気診断セミナー立ち上げの中心となった、いわば「同志」である）。普通に電気刺激したらしゃっくりのような短い収縮になってしまうのを、自然な呼吸のような緩徐な収縮を行わせる工夫がなされているものと考えられ、興味深い。

さて、私事になりますが、本年3月で定年を迎え、30年余の帝京大学神経内科での日々、12年間の神経内科学講座主任教授としての任期に一区切りをつけることとなりました。在任中はいろいろとお世話になりましたこと、あらためて御礼申し上げます。4月からは建物隣の帝京大学の医療技術学部に移ることとなり、実は部屋は都合で帝京大学病院の元と同じフロアで端から端に移動するだけとなって（笑）。私宛紹介患者の初診外来や筋電図検査もこれまで通り続ける予定で、大きな変化はないともいえます。ただ、時間はこれまでよりできそうなので、なかなか進まないでいる筋電図の教科書の執筆、あるいは頸椎症性筋萎縮症や胸郭出口症候群の自験例のまとめなどの懸案だった論文も仕上げていきたいと考えています。当誌の編集委員は、2008年11月に井上聖啓先生からの指名でお引き受けして、なんとも15年になります。随分前からアイデアは枯渇して（もともとあまりアイデアマンではありません……）、毎年部下のMLで特集テーマを募集しているような状態だったので、そろそろ潮時かなと考えています。こちらはまたご相談させてください。

（園生雅弘）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

山崎正志（編集委員長）
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 36 No. 3
(2023年5月24日発行)

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,500円＋税）

（配送料別）

年ぎめ予約購読料 33,300円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>
（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2023,
Printed in Japan

3COPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。